

## 三井住友系、カナダ年金大手と新ファンド 航空機投資で

2024/01/29 18:52 日本経済新聞電子版 398文字

三井住友フィナンシャルグループ（F G）が出資する航空機リースのS M B C アビエーションキャピタル（A C）は2 9 日、カナダの年金基金大手のケベック州貯蓄投資公庫（C D P Q）と共同で航空機向けに投資するファンドを立ち上げたと発表した。自己資金による投資を抑え、外部の資金で航空機の管理・運用台数を増やす。



三井住友ファイナンス&リース

S M B C A C は三井住友ファイナンス&リース（F L）と三井住友銀行が出資する世界2位の航空機リース会社だ。投資額の目標は3年間で1 5 億ドル（約2 2 0 0 億円）で、3 0 機弱の購入額に相当する。

C D P Q が新ファンドの資金の大半を出し、S M B C A C が機体の発注や管理などを担う。環境性能が高い中型機を中心に投資するという。

航空機は1機あたり数十億～数百億円と高額で、自己資金での投資には限界がある。年金基金など投資家から資金を集めて機体を購入すれば、資産を膨らませずに航空機リース事業を拡大できる側面がある。

許諾番号30097342日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.